

令和5年度事業報告

令和5年度において実施した事業については、次のとおりである。

第1 概 要

1 健康診断事業の推進

住民健診事業では、特定健康診査が減少し、それに併せて各種がん検診等が減少となった。一方で、事業所健診事業については、定期健康診断、ドック健診及び協会けんぽ健診は増加となった。特定健康診査等の合計では、約0.2%にあたる368人減少の147,069人の実施となり、がん検診等では前年度比約2.4%にあたる延人数11,913人減少の492,148人の実施となった。

2 大腸がん検診モデル事業

大腸がん検診モデル事業については、8市町村（黒石市、五所川原市、十和田市、五戸町、南部町、鶴田町、大鰐町、三戸町）から委託を受け、大腸がん検診未受診者を対象に便潜血検査を6,873人に勧奨したところ、18.0%にあたる1,237人の実施となった。検査の結果、要精検者は74人（6.0%）となった。

3 がん検診受診率・精検受診率の向上強化

受診率の向上強化のため、40市町村中、申込のあった31市町村に受診勧奨パンフレットを120,000部作成し配布した。また、各市町村及び各事業所等に精密検査の受診率向上を目的とした精検受診勧奨パンフレットを10,000部作成し配布した。

4 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチン接種に係る基本型接種施設として、令和5年度において青森県及び関係市町村から接種業務を受託し、延べ16,532件のワクチン接種を実施した。

5 検診機器等の整備

(1) 富士胸部集団検診X線撮影システム搭載検診車	1台（更新）
(2) 超音波診断装置	2台（更新）
(3) 胃部集団検診X線撮影システム装置搭載検診車	1台（更新）
(4) 機器運搬車	2台（更新）
(5) X線骨密度測定装置	1式（更新）
(6) 日立臨床検査システム	1式（更新）

第2 通常事業

1 検診及び受託検査等の総括

市町村、事業所等の委託を受け、検診・検査事業を弘前大学大学院医学研究科、保健所、医師会及び医療機関の協力・指導のもとに次のとおり実施した。

前年度に比較し、検診の分野では特定健康診査及び各種がん検診等の受診が減少したことにより、全体では12,928人の減少となった。

また、受託検査等については、細胞診の受託数が減少し、全体で647件の減少となった。

検診及び検査等総括表

単位：人

検診項目	年度	令和5年度	令和4年度	増減(△減)	備考
1 特定健康診査		52,409	53,724	△ 1,315	
2 定期健康診断		67,988	67,643	345	
3 人間ドック健診		6,566	6,320	246	
4 協会けんぽ健診		20,106	19,750	356	
特定健康診査等 計		147,069	147,437	△ 368	
5 結核検診		142,742	144,530	△ 1,788	
6 肺がん検診		82,476	83,868	△ 1,392	
7 胃がん検診		67,038	69,185	△ 2,147	
8 大腸がん検診		96,810	97,823	△ 1,013	
9 子宮がん検診		34,942	35,125	△ 183	
10 乳がん検診		21,927	21,765	162	
11 前立腺がん検診		13,066	19,234	△ 6,168	
12 学校心臓検診(心電図検査)		9,702	9,692	10	
13 骨密度測定検診		8,927	8,696	231	
14 腹部超音波健診		12,429	12,201	228	
15 特定保健指導		2,089	1,942	147	
がん検診等 計		492,148	504,061	△ 11,913	
16 細胞診受託検査		22,844	23,491	△ 647	
受託検査等 計		22,844	23,491	△ 647	
総延人数		662,061	674,989	△ 12,928	

2 各種検診、検査等別実施状況

(1) 特定健康診査

健診車5台、機器運搬車7台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は 52,409人で、そのうち要精検は10,167人（19.4%）、医療継続は33,690人（64.3%）、要指導7,882人（15.0%）となった。

特定健康診査実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		医療継続		要指導		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
出張検診	市町村	44,532	8,216	18.4	29,553	66.4	6,265	14.1	575	77
	社保等	2,794	620	22.2	1,365	48.9	714	25.6		5
センター	市町村	4,062	1,055	26.0	2,363	58.2	616	15.2	72	56
	社保等	859	235	27.4	345	40.2	237	27.6	145	6
健管センター	社保等	162	41	25.3	64	39.5	50	30.9	104	2
合計		52,409	10,167	19.4	33,690	64.3	7,882	15.0	896	58

(2) 定期健康診断

事業所の従業員等を対象にコース別に実施した。

Aコースで13,507人、Cコースで 44,349人、その他のコースで 10,132人の計67,988人が受診し、受診者の22.3%に当たる 15,183人が要精検となり、37.7%に当たる25,599人が要指導となった。

Aコース 34歳以下の者及び36歳以上39歳以下の者を対象とする。

(胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診)

Cコース 35歳の者及び40歳以上の者を対象とする。

(胸部X線撮影・身長体重測定・視力検査・聴力検査・血圧測定・尿検査・聴打診・心電図検査・貧血検査・血糖検査・肝機能検査・血中脂質検査・腎機能検査)

その他のコース 簡易健康診断等

定期健康診断実施状況

年 方式別	実施人員				要精検		要指導		実施日数	一日当り 実施人員
	Aコース	Cコース	その他の コース	計	人員	率	人員	率		
出張検診	9,814	29,907	8,713	48,434	10,693	22.1	17,744	36.6	632	77
センター	2,147	9,028	1,235	12,410	2,762	22.3	4,794	38.6	243	51
健康管理センター	1,546	5,414	184	7,144	1,728	24.2	3,061	42.8	351	20
合計	13,507	44,349	10,132	67,988	15,183	22.3	25,599	37.7	1,226	55

(3) 人間ドック健診

ア. 一日ドック簡易コース

各事業所の委託を受け前年度 596人より35人増加の 631人に実施し、33.9%に当る214人が要精検となり、26.0%に当る 164人が要指導となった。

イ. 一日ドック標準コース

各事業所の委託を受け前年度 4,228人より144人増加の4,372人に実施し、33.8%に当る 1,429人が要精検となり、24.0%に当る1,014人が要指導となった。

ウ. 二日コース

各事業所の委託を受け前年度 90人より15人増加の 105人に実施し、40.0%に当る42人が要精検となり、14.3%に当る 15人が要指導となった。

エ. その他のコース

各事業所の委託を受け前年度 1,403人より55人増加の 1,458人に実施し、29.3%に当る 427人が要精検となり、21.9%に当る 320人が要指導となった。

○人間ドック健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	ドックセンター	健管センター	合 計
肺がん検診	5,884	626	6,510
胃がん検診	4,791	521	5,312
大腸がん検診	5,727	613	6,340
子宮がん検診	1,723		1,723
乳がん検診	2,053		2,053
前立腺がん検診	3,265	406	3,671
腹部超音波健診	5,906	631	6,537
骨密度測定検診	2,580		2,580

(4) 協会けんぽ健診

全国健康保険協会の委託を受けセンター診療所 5,141人、附属あおもり人間ドックセンター 981人、附属あおもり健康管理センター13,984人、計20,106人実施し、前年度19,750人より 356人増加となった。

○協会けんぽ健診におけるがん検診等実施数（再掲）

	センター	ドックセンター	健管センター	合 計
結核検診	5,049	802	13,924	19,775
胃がん検診	3,652	528	10,024	14,204
大腸がん検診	4,618	946	13,248	18,812
子宮がん検診	287		838	1,125
乳がん検診	285		737	1,022
腹部超音波健診（付加）	90	63	211	364

(5) 結核検診

検診車11台による出張検診とセンター診療所で、原則として65歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村（一般住民）46,372人、事業所 70,998人、学校関係 15,123人（高校生 9,009人、大学生 5,115人、その他 999人）社会福祉施設 10,249人、計 142,742人で、前年度よりも 1,788人の減少となった。

なお、受診者 142,742人中 1.7%の 2,417人が要精検となった。

結核検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	43,192	241	0.6	636	68
	事業所	35,898	393	1.1		
	学校関係	15,067	136	0.9	699	88
	社会福祉施設	10,249	718	7.0		
	小計	104,406	1,488	1.4		
センター	市町村	3,180	0	0.0	72	44
	事業所	14,154	492	3.5	243	58
	学校関係	56	0	0.0		
	社会福祉施設	0	0	0.0		
	小計	17,390	492	2.8	315	55
健管センター	事業所	20,946	437	2.1	359	58
合 計	市町村	46,372	241	0.5	708	65
	事業所	70,998	1,322	1.9	1,301	74
	学校関係	15,123	136	0.9		
	社会福祉施設	10,249	718	7.0		
			142,742	2,417	1.7	2,009

(6) 肺がん検診

原則として40歳以上の者を対象とするX線撮影をベースとし、50歳以上のハイリスク者には喀痰細胞診検査を併せて実施した。

ア. X線撮影	受診者は市町村(一般住民) 58,705人、事業所 23,190人、事業所(C T) 581人の計 82,476人で、2.3%に当る 1,900人が要精検となった。
イ. 喀痰細胞診検査	受診者は市町村(一般住民) 657人、事業所 1,127人の計1,784人であった。

肺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	53,712	1,297	2.4	634	85
		事業所	14,342	174	1.2	266	54
		小計	68,054	1,471	2.2	900	76
	センター	市町村	4,993	169	3.4	78	64
		事業所	2,483	43	1.7	176	14
		小計	7,476	212	2.8	254	29
	ドックセンター	事業所	5,324	110	2.1	213	25
	健管センター	事業所	1,041	20	1.9	219	5
		市町村	58,705	1,466	2.5	712	82
		事業所	23,190	347	1.5	874	27
		小計	81,895	1,813	2.2	1,586	52

X線撮影(CT)	ドックセンター	事業所	560	73	13.0	191	3
		事業所(二次)	21	14	66.7		
		小 計	581	87	15.0		
X線撮影	市町村	58,705	1,466	2.5	712	82	
	事業所	23,771	434	1.8	1065	22	
	合計	82,476	1,900	2.3	1,777	46	
喀痰検査	出張検診	市町村	635	0	0.0		
		事業所	368	0	0.0		
		小 計	1,003	0	0.0		
	センター	市町村	22	0	0.0		
		事業所	139	0	0.0		
		小 計	161	0	0.0		
	ドックセンター	事業所	431	0	0.0		
	健管センター	事業所	189	0	0.0		
		市町村	657	0	0.0		
		事業所	1,127	0	0.0		
		合 計	1,784	0	0.0		

(7) 胃がん検診

検診車8台とセンター診療所で、原則として40歳以上の者を対象に実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 35,807人、事業所 31,231人の計 67,038人で、6.2%に当る4,148人が要精検となった。

胃がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検		実施日数	1日当り 実施人員	
			人員	率			
X線撮影	出張検診	市町村	33,454	2,323	6.9	577	58
		事業所	9,084	441	4.9	411	22
		小 計	42,538	2,764	6.5	988	43
	センター	市町村	2,353	185	7.9	76	31
		事業所	5,962	269	4.5	243	25
		小 計	8,315	454	5.5	319	26
	ドックセンター	事業所	3,559	188	5.3	214	17
	健管センター	事業所	11,394	634	5.6	356	32
	合 計	市町村	35,807	2,508	7.0	653	55
		事業所	29,999	1,532	5.1	1,224	25
			65,806	4,040	6.1	1,877	35
	内視鏡検査	ドックセンター	事業所	1,232	108	8.8	214
健管センター		事業所	214	24	11.2	66	3
合 計		事業所	1,446	132	9.1	280	5
合 計	市町村	35,807	2,508	7.0	653	55	
	事業所	31,231	1,640	5.3	1,438	22	
		67,038	4,148	6.2	2,091	32	

(8) 大腸がん検診

原則として、40歳以上の者を対象にS P I A法による免疫便潜血検査(2日法)で実施した。

受診者は、市町村(一般住民) 57,044人、事業所 39,766人の計 96,810人で、5.3%に当る5,092人が要精検となった。

大腸がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	52,235	3,041	5.8
	事業所	11,376	463	4.1
	小計	63,611	3,504	5.5
センター	市町村	4,809	269	5.6
	事業所	7,654	366	4.8
	小計	12,463	635	5.1
ドックセンター	事業所	5,694	229	4.0
健管センター	事業所	15,009	720	4.8
合計(便潜血検査)	市町村	57,044	3,310	5.8
	事業所	39,733	1,778	4.5
		96,777	5,088	5.3
内視鏡検査(ドックセンター)	事業所	33	4	12.1
合計	市町村	57,044	3,310	5.8
	事業所	39,766	1,782	4.5
		96,810	5,092	5.3

(9) 子宮がん検診

検診車2台とセンター診療所で、原則として隔年で20歳以上を対象とする子宮頸がん検診をベースとし、40歳以上、最近6ヶ月以内に不正性器出血症状があった者のうち、医師が判断して本人の同意を得た者には子宮体がん検診を実施した。

子宮頸がん検診受診者は、市町村(一般住民) 30,239人、事業所 4,703人の計 34,942人で、受診者の 1.8%に当る 644人が要精検となった。

子宮体がん検診は、頸がん検診受診者 34,942人のうち14人に実施した。

子宮がん検診実施状況

1) 子宮頸がん検診

方式別	区分	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率		
出張検診	市町村	13,514	169	1.3	254	53
	事業所	432	5	1.2	21	21
	小計	13,946	174	1.2	275	51
センター	市町村	1,942	21	1.1	66	29
	事業所	1,262	23	1.8	77	16
	小計	3,204	44	1.4	143	22
ドックセンター	事業所	1,656	17	1.0	108	15
健管センター	事業所	1,353	24	1.8	43	31
日母検診	市町村	14,783	385	2.6		
合計	市町村	30,239	575	1.9	320	
	事業所	4,703	69	1.5	249	
		34,942	644	1.8	569	

2) 子宮体がん検診

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	0	0	0.0
日母検診	市町村	14	0	0.0
合計	市町村	14	0	0.0

(10) 乳がん検診

検診車3台で、市町村の保健センター等とセンター診療所で原則として隔年で40歳以上を対象に実施した。

実施方法は、40～59歳はマンモグラフィ2方向撮影、60歳以上はマンモグラフィ1方向撮影とした。

受診者は、市町村(一般住民) 17,401人、事業所 4,526人の計 21,927人で、6.5%に当る1,434人が要精検となった。

乳がん検診実施状況

方式別	区分	方法	実施人員	要精検		実施日数	1日当り 実施人員
				人員	率		
出張健診	市町村	X線	15,168	920	6.1	262	58
		X線	288	17	5.9		
	計	15,456	937	6.1	278	56	
センター	市町村	X線	2,233	162	7.3	68	33
		X線	947	78	8.2		
	計	3,180	240	7.5	142	22	
ドックセンター	事業所	超音波	508	32	6.3	129	超音波
		X線	48	3	6.3		16
		超音波+X線	1,497	139	9.3		X線
		計	2,053	174	8.5		12
健管センター	事業所	X線	1,238	83	6.7	153	8
合計	市町村	X線	17,401	1,082	6.2	372	超音波
		超音波	508	32	6.3		16
	X線	2,521	181	7.2	X線		
	超音波+X線	1,497	139	9.3	11		
事業所	計	4,526	352	7.8			
合計	市町村	超音波	508	32	6.3	702	超音波
		X線	19,922	1,263	6.3		16
	超音波+X線	1,497	139	9.3	X線		
	計	21,927	1,434	6.5	31		

(11) 前立腺がん検診

原則として、50歳以上の男性を対象に実施した。受診者は、市町村 3,638人と事業所 9,428人の計 13,066人で、4.5%に当る 582人が要精検となった。

前立腺がん検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検	
			人員	率
出張検診	市町村	3,636	192	5.3
	事業所	3,307	184	5.6
	小計	6,943	376	5.4
センター	市町村	2	0	0.0
	事業所	809	37	4.6
	小計	811	37	4.6
ドックセンター	事業所	3,265	109	3.3
健管センター	事業所	2,047	60	2.9
合計	市町村	3,638	192	5.3
	事業所	9,428	390	4.1
		13,066	582	4.5

(12) 学校心臓病検診(心電図検査)

受診者は 9,702人で、要精検は 1.9%の 183人、要観察は 0.5%の 52人となった。

学校心臓病検診実施状況

	実施人員	要 精 検		要 観 察		合 計		実施日数	1日当り 実施人員
		人員	率	人員	率	人員	率		
小学校	4,879	77	1.6	31	0.6	108	2.2	71	112
中学校	3,073	60	2.0	16	0.5	76	2.5		
高等学校	1,565	43	2.7	5	0.3	48	3.1	18	87
大 学	185	3	1.6	0	0.0	3	1.6	3	62
合 計	9,702	183	1.9	52	0.5	235	2.4	92	105

※青森市教育委員会(小学校1,729人 中学校2,031人)合計3,760人は判定なしのため、実施人数には加算していない。

(13) 骨密度測定検診

D X A法(前腕骨骨塩量測定)及び超音波法(踵骨骨量測定)で実施した。

- ア. D X A法…………… 市町村(一般住民) 3,896人、事業所 1,147人、ドック2,580人の計 7,623人で、受診者の 5.8%に当る 443人が要精検となり、14.0%に当る 1,071人が要指導となった。
- イ. 超音波法…………… 市町村(一般住民) 1,006人、事業所 100人、若年者 198人の計 1,304人で、受診者の 11.3%に当る 147人が要精検となり、31.9%に当る416人が要指導となった。

骨密度測定検診実施状況

方式別	区分	実施人員	要精検		要指導		合計		実施日数	1日当り 実施人員
			人員	率	人員	率	人員	率		
D X A法	市町村	3,896	336	8.6	720	18.5	1,056	27.1	132	30
	事業所	1,147	46	4.0	142	12.4	188	16.4	143	8
	ドック	2,580	61	2.4	209	8.1	270	10.5	205	13
	小計	7,623	443	5.8	1,071	14.0	1,514	19.9	480	16
超音波法	市町村	1,006	120	11.9	377	37.5	497	49.4	30	34
	事業所	100	27	27.0	33	33.0	60	60.0	4	25
	若年者	198	0	0.0	6	3.0	6	3.0	4	50
	小計	1,304	147	11.3	416	31.9	563	43.2	38	34
合 計	市町村	4,902	456	9.3	1,097	22.4	1,553	31.7	162	30
	事業所	1,247	73	5.9	175	14.0	248	19.9	147	8
	ドック	2,580	61	2.4	209	8.1	270	10.5	205	13
	若年者	198	0	0.0	6	3.0	6	3.0	4	50
		8,927	590	6.6	1,487	16.7	2,077	23.3	518	17

※ただし、若年者は再検査として分類をしているが要精検者として計上した。

(14) 腹部超音波健診

各事業所等から委託を受け、12,429人に実施し、その10.3%に当る1,281人が要精検となった。

腹部超音波健診実施状況

方式別	区分	実施人員	要 精 検	
			人 員	率
出張検診	市町村	238	28	11.8
	事業所	1,639	77	4.7
	小計	1,877	105	5.6
センター	市町村	0	—	—
	事業所	962	74	7.7
	小計	962	74	7.7
ドックセンター	事業所	5,906	578	9.8
健管センター	事業所	3,684	524	14.2
合計	市町村	238	28	11.8
	事業所	12,191	1,253	10.3
		12,429	1,281	10.3

(15) 特定保健指導

各市町村及び各医療保険者との委託契約のもと、40～74歳までの者を対象に実施した。
受診者は、動機づけ支援 1,106人、積極的支援 983人の計 2,089人となった。

腹 囲	追加リスク		対 象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧	喫 煙	40～64歳	65～74歳
男性85cm以上 女性90cm以上	2つ以上該当		積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	あり なし		
上記以外で BMI 25以上	3つ該当		積極的支援	動機づけ支援
	2つ該当	あり なし		
	1つ該当			

特定保健指導実施状況

	動機づけ支援	積極的支援	計
市町村	271	96	367
社保等	835	887	1,722
合計	1,106	983	2,089

(16) 細胞診受託検査

県立中央病院などの各国公立病院及び関係医療機関からの委託を受け、婦人科、呼吸器科、体腔液及びその他の細胞診検査を 22,844件実施し、前年度よりも 647件の減少となった。

細胞診検査(部位別)実施状況

		陽 性	疑陽性	陰 性	判定不能	合 計
婦 人 科	膣 頸 部	50	1,158	17,811	32	19,051
	体 部	37	104	3,121	173	3,435
	そ の 他	2	4	51	1	58
	小 計	89	1,266	20,983	206	22,544
呼吸器科	喀 痰	2	1	45	44	92
	気 管 支	19	1	19	0	39
	小 計	21	2	64	44	131
体 腔 液	腹 水	4	0	5	0	9
	胸 水	5	2	27	0	34
	小 計	9	2	32	0	43

そ の 他	泌 尿 器	3	3	103	9	118
	乳 腺	0	0	1	0	1
	甲 状 腺	0	0	0	0	0
	消 化 器	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	7	0	7
	小 計	3	3	111	9	126
合 計		122	1,273	21,190	259	22,844
前 年 度		149	1,368	21,746	228	23,491

第 3 県からの委託事業の実施

令和 4 年度青森県生活習慣病検診従事者指導講習会

- | | |
|---------------------|--------|
| (1) 大腸がん検診従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和6年3月14日 | 参加者28名 |
| (2) 肺がん検診読影従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和6年2月9日 | 参加者27名 |
| (3) 乳がん検診従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和6年2月9日 | 参加者31名 |
| (4) 胃がん検診読影従事者指導講習会 | (年1回) |
| 令和6年3月13日 | 参加者34名 |

第 4 普及啓発事業

1 各種検診等の広報普及活動の推進

がん征圧月間、結核予防週間、ピンクリボン月間、生活習慣病予防月間等の周知を図るため、各種保健衛生関連事業に協賛し、地元の新聞、テレビ、ラジオにより広告を行った。

2 普及宣伝資材の購入等

- (1) 結核、がん、生活習慣病等の予防及び健康の保持・増進に関する啓発資料を作成又は購入し各健康まつり、各検診会場で配布した。
- (2) 結核予防会の広報誌「複十字」及び「日本対がん協会報」を定期購入し関係機関等へ配布した。
- (3) 当センター広報誌「やすらぎ青森」を年2回発行し、関係機関等へ延べ1,800部配布した。

3 予防啓発の月間・週間の行事

- (1) 結核予防、がん征圧等の運動、啓発強化を目的として、月間及び週間のPRのため、ポスター・チラシ等の配布を実施した。

がん征圧月間	(9月 1日～9月30日)
結核予防週間	(9月24日～9月30日)
生活習慣病予防月間	(2月 1日～2月28日)
- (2) 市町村等が実施する結核、がん又は生活習慣病の予防啓発事業、健康まつり等に参加協力し、パネル等を展示した。
- (3) 令和5年9月9日～10日に結核予防、がん征圧等の運動、啓発事業の一環として「RABまつり」へ参加した。

4 生活習慣病等集団検診従事者研修会

令和6年2月14日 青森市において市町村及び事業所の保健師等を対象に参加者161名を招き研修会を開催した。

第5 検診等協力団体への活動支援

1 青森県結核予防婦人会

(1) 結核予防週間期間にあわせて活動していた複十字シール運動街頭募金を令和5年9月23日に青森市内2カ所で開催した。

2 青森県よろこびの会(がん克服者の会)

令和5年6月29日 青森市浅虫において参加者26名で総会並びに研修会を開催した。

第6 募 金 活 動

1. 結核予防事業の普及啓発及び資金造成のため、青森県結核予防婦人会、その他関係団体の協力を得て、複十字シール運動の募金活動を次のとおり展開した。

- | | |
|----------|------------|
| (1) 運動期間 | 令和5年8月～12月 |
| (2) 目標額 | 3,500,000円 |
| (3) 募金額 | 1,425,789円 |

2. がん予防事業の普及啓発及びその資金造成のため、会員制による募金運動を次のとおり実施した。

- | | |
|----------|-------------|
| (1) 運動期間 | 令和5年9月～5年3月 |
| (2) 目標額 | 2,000,000円 |
| (3) 募金額 | 3,085,980円 |

個人会員(164人) 772,000円、法人会員(93法人) 2,313,980円

第7 理事会・評議員会・評議員選定委員会の開催

1 理事会

令和5年6月2日	決算の確定を目的
令和5年6月21日	役員理事選定を目的(書面)
令和6年3月1日	次年度事業計画及び予算の確定を目的

2 評議員会

令和5年6月21日	決算の確定を目的
令和6年3月21日	次年度事業計画及び予算の確定を目的

3 評議員選定委員会

令和5年6月5日	評議員の選任を目的(書面)
----------	---------------

第8 会議・研修会の開催及び参加

1 県内の会議等

乳がん検診画像読影委員会	オンライン開催
前立腺がん検診精度管理委員会	
骨密度(骨粗鬆症)検診判定委員会	
特定健康診査等判定検討委員会	

胃がん検診読影委員会	
腹部超音波健診読影委員会	
子宮がん検診管理指導委員会	オンライン開催
大腸がん検診指導管理委員会	
健診従事看護師研修会	
循環器健診従事医師打合せ会議	
肺がん検診読影委員会	オンライン開催

2 県外の会議等

- | | |
|----------------------|-------|
| (1) 結核予防会関係 | |
| 結核予防全国大会 | (東京都) |
| 事務局長研修会並びに全国支部事務連絡会議 | (東京都) |
| 東北・北海道ブロック会議 | (福島県) |
| (2) 日本対がん協会関係 | |
| がん征圧全国大会 | (山口県) |
| 全国事務局長会議 | (東京都) |
| 東北・北海道ブロック会議 | (宮城県) |

第9 主たる学会の参加

日本消化器病学会	(長崎県)
日本消化器がん検診学会	(大阪府) オンライン開催
日本消化器がん検診学会東北地方会	(岩手県) ハイブリット開催
東北地区集検放射線技術部会	(青森県) ハイブリット開催
日本乳癌検診学会	(福岡県)
日本臨床細胞学会 (春期大会)	(愛知県) ハイブリット開催
日本臨床細胞学会 (秋期大会)	(福岡県) ハイブリット開催
細胞検査士教育セミナー	(神奈川県) Web開催
日本超音波検査学会	(大阪府) Web開催